

大ミミズ？実はプラナリア

小千谷で
数十匹発見

体長六十センチ、幅五センチほどの細長い物体がミミズのよように動く。頭部はイチョウの葉型、腹と背には縦線模様。小千谷市西吉谷の吉谷保育園（中村一美園長）ゲラウンドわきの側溝などでこんな生物が数十匹見つかった。正体はオオミスジコウガイビルというプラナリア類。全国でも十四方所でしか確認されていない。

本員類学会員は実物を見てオオミスジコウガイビルと断定。ヒルではなく血は吸わない。えさはカタツムリやミミズだ。原産は東南アジアとみられる。一九六八（昭和四十三）年に皇居内で発見されてから全国で散発的に見つかった。八二年に種類を同定した川勝正治・藤女子大

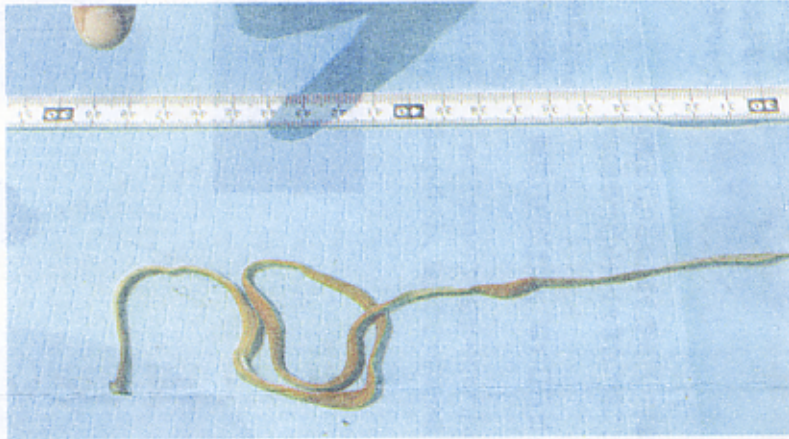
学教授によると現在まで全国十四方所で確認。三条市で昨夏、村山さんが確認した一例も含む。「越冬できるか分からないが全国的に増えていくだろう」と川勝教授。引っ張ればすぐ切れるが、切片が植木鉢の土に混じるだけで繁殖していくという。繁殖経路は定かではないが、村山さんは「もっと出る可能性もある。目には毒かもしれないが人体に害はないので心配しないで。発見したら連絡してほしい」と話す。連絡先は0258

(36)8550。

同園では六月末から七月上旬まで毎朝二、三匹ずつ見つかった。「とにかく気持ち悪い。何か分からなかったが、子どもに害のないように出てきたらすぐ取った」と中村園長（四八）。

側溝のほか、木の根や土のすき間でも発見され、長いものは長さ一拵ほどだったという。しばらくをひそめていたが、二十三日朝にも姿を現した。

二十五年前からプラナリア類の県内分布を調べている長岡市の村山均さん（六八）にいがた員友会会長、日



小千谷市の吉谷保育園で発見されたオオミスジコウガイビル。左端の膨らんだ部分が頭部

発行所 **新潟日報社**
 〒951-8620 新潟市西堀通3番町258-24
 (黒埼本社 西蒲原郡黒埼町善久)
 主な電話 (025)378局
 報道部 9411 学芸部 9428
 スポーツ 9418 調査部 9316
 タウン情報 9406 販売部 9382
 紙面審査部 9448 広告部 9335
 (読者応答) 9448 事業部 9263
 購読申し込みフリーダイヤル 0120-0840-20

28

